

授業科目 美を楽しむ

【担当教員名】 丹治 嘉彦	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健康・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

【概要・一般目標：G10】
 芸術という概念が我々の生き方にどのような形で機能しているかを実技と理論を通して多角的に学ぶ。

【学習目標・行動目標：SBO】
 現代社会の中で芸術が単にお飾りとして位置づけられているのではなく、人間社会の中でダイナミックに機能し生きる糧となっていることを授業の中心課題とする。このことを実践するために簡単なスケッチやデッサン等を行う。また学外授業として美術館や芸術祭で作品展等を多角的に鑑賞して芸術の存在意義等を学ぶ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス		
2	芸術・美術の意味		プリントを使っての学習
3	芸術祭の鑑賞		新潟市で開催されている「水と土の芸術祭」を鑑賞する。 DVDを鑑賞しながらの学習
4	芸術・美術の意味		校内スケッチ
5	実技		校内スケッチ
6	実技		校内スケッチ及び講習会
7	実技		現代美術の意味をスライドを通して学ぶ
8	生活の中に入るこむ芸術（デザイン）		DVDを鑑賞しながらの学習
9	生活の中に入るこむ芸術（建築）		DVDを鑑賞しながらの学習
10	芸術の新たな展開		美術館において学芸員の解説をもとに鑑賞会を行う
11	美術館展覧会鑑賞		美術館以外で展開しているアートを学ぶ
12	社会と美術		美術館以外で展開しているアートを学ぶ
13	社会と美術		
14	これからの社会における美術の意義		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 レポート、スケッチブックの提出、および出席を評価の基準とします。	【履修上の留意点】
--	-----------